

三心を磨く

学校だより No. 1

令和2年4月6日(月)発行

須坂市立東中学校

文責:嶋田 和美(教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

令和2年度 須坂市立東中学校 入学式・始業式

式 辞

日の光にまぶしさが増し、万物が躍動する春が今年も巡ってきました。このよき日に、堂原PTA会長様をご来賓に迎え、新入生保護者の皆様方のご臨席を賜り、このように入学式が挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

45名の新入生の皆さん、東中学校へのご入学おめでとうございます。皆さんの入学を、二・三年生、教職員一同心待ちにしていました。

多くの方に見守られながら、新しい生活・新たな出会いへの希望や期待と不安を胸に入場してくる皆さんは、初々しさの中に凜々しさを感じさせる姿でした。皆さんの希望や期待が一層大きなものになり、安心して楽しい中学校生活が送れるように、先生方も上級生も精一杯応援していきたいと思ひます。

さて、「心のスイッチ」という詩を紹介しします。

人間の目は、ふしぎな目、見ようという心がなかったら、見ていても何も見えない。

人間の耳は、ふしぎな耳、聞こうという心がなかったら、聞いていても何も聞こえない。

同じように先生の話も聞いていても、ちっとも聞こえてこない人がいる。

本当にそうだと、腹の底まで聞く人もいる。

「よしやるぞ!」と心のスイッチが入ると、頭も体もすばらしいはたらきをしはじめる。

今まで、みんなから目立たない子だと思われていた子でも、心にスイッチが入ると、急に素晴らしい子になる。

心のスイッチは、人間をつまらなくもし、素晴らしくもしていくんだ。

電灯のスイッチが、家の中を明るくもし、暗くもするように。

皆さんがこれから過ごす三年間は、心身ともに大きく成長し、大人になる準備をする、人生の中で最も大事な時期ですが、あっという間に過ぎてしまいます。

そこで、この貴重な三年間を有意義なものとするために、本校の学校目標「三心自立」に重ね、三つの「心のスイッチ」について話します。

一つ目は、「学ぶ心」のスイッチです。言うまでもなく中学生にとって一番大事なことは学習です。では、なぜ学ぶのか。それは、自分という人間を高め、自立した大人になるためです。皆さんが生きるこれからの社会は、新しい知識や情報、技術によって大きく変化していく社会です。そしてその変化はすでに始まっています。大きく変化し続ける社会の中で求められるのは、変化に対応する能力であり、正解が一つではない課題を解決していく力です。そのためには、生涯に渡って学び続けることが必要になります。皆さんはそのための基礎を身につけるために「学ぶ心」のスイッチを入れなくてはならないのです。

二つ目は、「思いやる心」のスイッチです。新入生の皆さんはもちろん、東中学校の生徒には、一人として同じ人はいません。足の速い人もいれば、遅い人もいます。テストが得意な人、図工などで素晴らしい作品を仕上げたり、運動で活躍したりする人もいます。一人一人が、自分らしさという異なる色の命の光を持った存在です。しかし、たった一人ではその光を放つことはできません。自分らしさという光を輝かせるためには、他者の存在が必要なのです。だからこそ、互いを尊重し合うことを通して、成長することができるのです。そのために必要なのが「思いやる心」のスイッチです。思いやりは人の心

を温かくし、生きる勇気を引き出してくれます。一人一人の「思いやる心」のスイッチが入っていれば、いじめや周りに迷惑をかける行為はなくなるものと私は信じています。皆さんは将来、今よりもずっとたくさんの、多様な考えを持った人たちと出会い、共に生きていくことになります。自分を輝かせ、よりよい人間関係作りの基礎を身につけるために「思いやる心」のスイッチをいつもONにしてください。

三つ目は、「鍛える心」のスイッチです。目標や志を持って何かを成し遂げようとするとき、失敗してもくじけずに挑戦し続け、乗り越えるたくましい心と体が大切になります。そのためには、自分を鍛えることが必要で、中学校生活のあらゆる場面で自分を鍛える場になります。中学生の時期に鍛えた心と体は、将来を支える土台となります。

「学ぶ心・思いやる心・鍛える心」この三つの「心のスイッチ」を入れ、日々自立に向かって成長していく皆さんの姿を期待しています。二・三年生の皆さんは、その具体の姿を示し、一年生を導いてください。

また、新型コロナウイルス感染症終息が見通せない中、確実な健康観察、マスクの着用・手洗い・うがい・バランスの良い食事・十分な睡眠時間の確保など、今できる感染防止対策を確実に行うとともに、新型コロナウイルス感染症に関わる心ない噂や差別・いじめが絶対に発生しないよう、みんなで確認し合い、困難を乗り越えていきましょう。

新入生の保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校三年間は心身の成長がめざましい反面、不安定になりやすい時期でもあります。しかし、どの生徒も素晴らしい可能性を持ったかけがえのない存在であり、地域の宝です。生徒のよさや可能性を最大限に伸ばすのが、保護者や教職員の責務と考えます。そのために、これから三年間、学校と家庭との信頼・連携を一層密にして進めることができますようお願い申し上げます。

終わりに、45名の新入生にとって、本校での三年間がかけがえのない学びの時となることを願い、式辞と致します。

令和2年4月6日

須坂市立東中学校長 島田 浩幸

本年度転入職員の紹介 ～よろしくお願ひします！～

★令和2年度のスタートにあたり、以下の8名の職員を新たに東中学校に迎えました。

保護者・地域の皆さまには、これまで同様温かいご支援をいただきたいと思ひます。

- | | |
|----------------------|--------------|
| ○ 嶋田 和美 (しまだ かずみ) 教頭 | 小川村立小川中学校より |
| ○ 下平富士雄 (しもだいら ふじお) | 須坂市立墨坂中学校より |
| ○ 田中 英春 (たなか ひではる) | 須坂市立相森中学校より |
| ○ 北原 大介 (きたはら だいすけ) | 須坂市立墨坂中学校より |
| ○ 内山 真弓 (うちやま まゆみ) | 中野市立南宮中学校より |
| ○ 小林奈津子 (こばやし なつこ) | 長野県立飯山養護学校より |
| ○ 小林 彩香 (こばやし あやか) | 前橋市立第一中学校より |
| ○ 高橋 有紀 (たかはし ゆき) | 須坂市立小山小学校より |

保護者懇談会・家庭訪問について

本校では、学校職員と保護者の方との懇談の機会を重ねてもつことで、子どもの成長をともに支えていきたいと思ひます。4月(22・23・24日)に1学年は家庭訪問を行います。

また2学年は、4月(20・22・23・24・27日)に今年度は「保護者懇談会」を行います(夏休みには家庭訪問をさせていただきます)。そして、夏休みに3学年全家庭、1・2学年はご希望のあるご家庭との保護者懇談会、12月に全学年で保護者懇談会を予定しています。ご承知置きください。ご多用中とは存じますが、ご理解の上、よろしくお願ひいたします。